



住宅リフォーム推進協議会会長賞

講評： 世田谷区の閑静な住宅地、築20年の低層集合住宅の全面リフォームである。施主は大学教授と看護師のご夫妻であり、そのライフスタイルの特徴は、蔵書の多さと夫妻共通の趣味が「カフェでの読書」という知的でスタイリッシュな指向性が強い点にあった。

プランニングにおいては、水回りの位置は変えず、既存のLD+和室を広いLDに、もう一つの洋室と玄関・廊下を一体化して学生のゼミもできるライブラリーにした。水回りや「隠れ家」のような狭い主寝室・クロゼットなどの小さい空間に対し、ライブラリーやLDといった大空間が明快なコントラストをなす。特にライブラリーはこの住宅の最大の特色である。ライブラリー部分の黒い天井はそれ以外の部分の白と意識的に色分けされ、ライブラリー空間を非日常化し施主の楽しみであるカフェ空間に近づけている。この空間シークエンスの考え方が、家全体を快適なスペースへと変貌させている。

インテリアデザインのポイントである素材とカラーコーディネーションは上手くコントロールがなされている。特に全室に採用された遮音フローリングはクッション部分の沈みが少ない改良品が採用され、その色調もトレンドのベンゲ色で施主お気に入りである。その他、壁やドアに用いられたポイントカラーも抑制が利いていて好ましい。他方、照明計画については、もう一工夫欲しかったというのは、審査側の欲張りな要求でもある。

マンションリフォームの最大のテーマとも言える収納に関しては、施主の第1の要望である「段ボール80箱」に及ぶ蔵書への対応に上手く応えている。書架には既製品が用いられているが、その選定にあたっては施主はショールームに色々なサイズの蔵書を持参し、縦

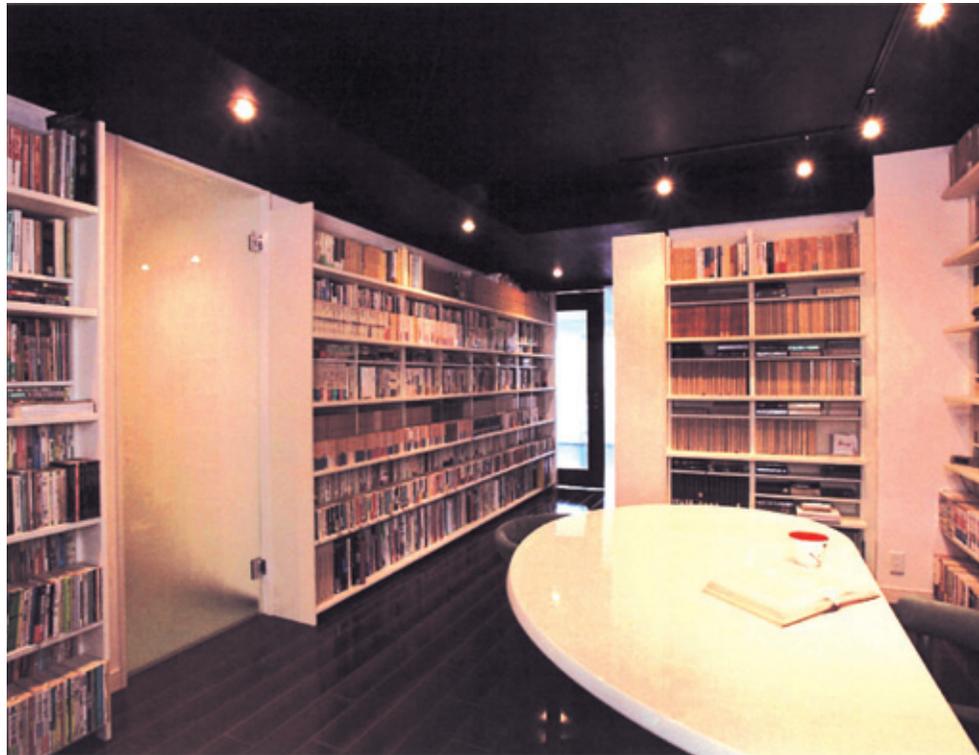
積み、横積みをして決めた。その結果、背表紙が全部見えるための書棚総延長90m以上が確保できたという。他の収納に関してはボリューム的にはタイトだがコストの許す範囲でぎりぎりの対応がなされている。

断熱・遮音に効果のあるインナーサッシに防犯ガラスを用い、二重サッシ化で性能向上を図り、また将来、親の介助が必要な事態が生じて、洋室には介助しやすい床高を確保しており、開口部も車いす移動が可能な有効幅の確保もなされるなど、将来の生活設計の視点も加えられている。

施主・設計者・施工者が協力し、巧みな情報整理により膨大な資料から賢い選択をし、そのコストコントロールとともに完成度の高いマンションリフォームを実現した好例である。



リフォーム前後の写真



1.ライブラリーを見る



2.玄関からライブラリーを見る



3.ライブラリー



1.改装前



2.改装後



4.リビングダイニングを見る



5.ワークスペース



6.洗面室

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

築12年の中古物件を購入し、入居前に全面的にスタイルを一新するためにリフォームを希望。

・大学教授である御主人の蔵書を収納することが、一番の難点であったが、玄関に入ってすぐに広いスペースを設け、壁に本棚を配置し、本をインテリアとして見せるようにした。
床・天井をダークな落ち着いた色でおさえ、ライブラリーカフェのようなゆったりと、学生と語らえる広い空間を演出した。

・ライブラリー以外の居室では、壁・扉等に緑・水色・黄色等の明るいポップな色を配置しアクセントとし、ライブラリーとの空間のバランスをとり、遊び心のある空間としている。

・廊下のような空間をなるべくなくし、収納等スペースを広く確保している。本件は、少しゆとりのある40代のDINKSが、自分達のため、オンリーワンの空間にするためのリフォーム事例である。特に蔵書の多い家の収納の仕方として、新たな空間を試みたのが、施主にとても気に入ってもらえた。

特に配慮した住宅性能：角部屋でバルコニーが多く外部からの進入も容易にできそうな立地のため、防犯性能を高めるためにすべてのサッシを2重サッシ、防犯ガラス入りにした。

データ

所在地	東京都世田谷区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート造/12年
該当工事面積	95.46 m ² /総工事床面積 95.46 m ²	該当部分工事費	1,500 万円/総工事費 1,500 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人/65歳以上： 人/15歳未満： 人/ペット：		
設計者	三井ホームモデリング(株)	担当者	佐藤 恵利子
施工者	同上	担当者	釜野 誠

リフォーム前

リフォーム後

